

11春闘 雇用確保も賃上げも

一時金は年間4.5ヶ月要求へ

上部団体の電機連合が早くもベア0宣言をしてしまった今春闘。目玉はやはり一時金の動向でしょう。その一時金の要求月数を年間4.5ヶ月で検討しているとの報告が労働組合よりありました。昨年の春闘でRTは半期2.25ヶ月(年間4.5ヶ月相当)の要求月数を出しました。RT単独で600億円以上の営業赤字を出した昨年と、曲がりなりにも営業黒字を達成しそうな今年が、同じ要求月数水準であることを、私達はどうか考えれば良いのでしょうか。「要求はあくまでも要求、大事なのは妥結月数」でしょうか。昨年の妥結月数は、RTが2.0ヶ月(年間4.0ヶ月相当)でした。ならば今年は2.0ヶ月+は必須ですね。この「+」をどこまで大きく出来るのかは、春闘の盛り上げ如何にかかっているとと言えるでしょう。

春闘が始まりました

ベースアップゼロ

賃金水準そのものの改善を示すベースアップを、今年も労働組合は要求しない方針のようで、賃金体系の維持および定期昇給の要求のみとされています。定期昇給の実施については、経営者側の代表である日本経団連も認めていますので、その点では着地点の見えた春闘ではないかと思えます。

賃金体系ではなく水準の維持改善を

労働組合は「賃金体系の維持」を掲げています。REL社のいまの賃金体系は、昇格や昇号によって俸給が上がる仕組みです。したがって、仮にこの体系と格付けなどによる賃金額が維持されていても、昇格昇号の年齢が従来よりも高くなれば(昇格昇号の時期が遅くなれば)賃金水準自体は下がることとなります。例えば旧ELの

場合、以前は31歳で主任に昇格するのが普通でした。今はどうでしょうか。もし仮に主任に昇格する平均年齢が32歳や33歳になっているとしたら、たとえ賃金体系は同じでも、賃金水準は下がったこととなります。賃金体系よりも重要なのは、各年齢における平均賃金が、昨年と同等以上かどうかではないでしょうか。

未来の処遇改善のために

2011年は、統合会社として初めての春闘になります。その意味では、REL社として来年以降の春闘の枠組みや基準を決める重要な交渉になると考えられます。業績は営業黒字70億円を目指しています。仮にこれが達成されたとして、その評価が年間一時金4.0ヶ月なのか、あるいは4.3ヶ月なのか、それとも4.5ヶ月なのかは、今後のREL社の水準のベースになる話です。未来への布石として、できるだけ多くの一時金獲得を期待したいと思えます。

3Q決算は30億円の営業黒字

1月19日の日本経済新聞の報道したところによれば、ルネサスの3Qの業績は30億円の営業黒字だったとのこと。11億円の黒字だった2Qから更に回復し、通年での営業黒字達成も、しだいに現実味を帯びてきました。エコカー補助金の終了やエコポイントの半減による市況のスローダウンの影響で、4Q以降の需要にかげりが見えていますが、昨年や一昨年の危機的状況から見れば、大幅な回復であるとも言えるでしょう。

早期退職や拡散工場設備の減損処理などのリストラ費用を計上している影響で、今年度の最終損益は数百億の赤字になりますが、本業の状態を表す指標の営業損益が黒字になることに関しては、事業が好転しているものと自信を持って良いのではないのでしょうか。

ルネサス懇

ルネサス関連労働者懇談会 2011年2月 No.3

E-Mail : renesaskon@gmail.com

Web : <http://www.renesaskon.net/>

住所 : 東京都港区三田3-2-20 電機労働者懇談会気付

TEL : 03-3455-6006 FAX : 03-3451-3595

NECセミコン重層偽装請負訴訟第4回口頭弁論

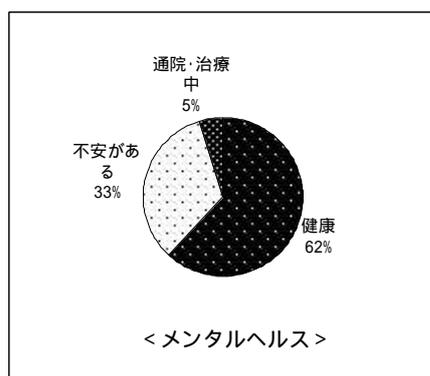
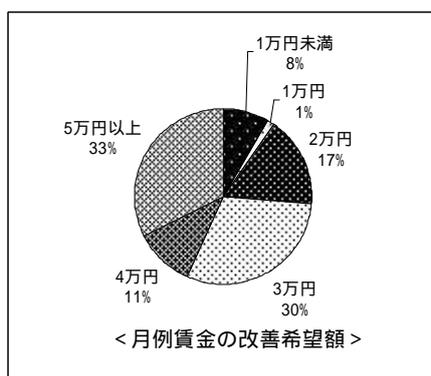
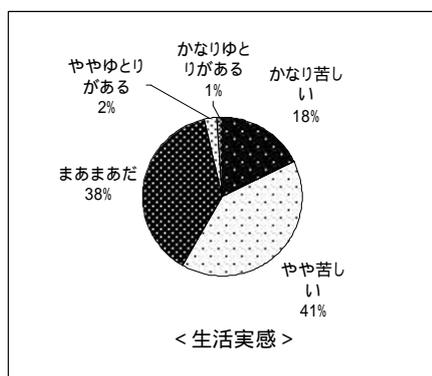
2010年12月13日(月)午後3時から、NECセミコン重層偽装請負訴訟第4回口頭弁論が熊本地方裁判所にて行われ、柳瀬強原告団長・板井俊介弁護士が意見陳述を行いました。



多くの支援者が詰め掛け、傍聴は今回も抽選に。11年間NECセミコンで働いた柳瀬団長は「私が突然解雇されたのは、今回だけではない。2001年にITバブルが崩壊したことから錦工場の人員も削減され、私は突然解雇された」「この悔しさは一生忘れることはできない」と、二度も雇用の調整弁としてモノのように扱われた事を、怒りを込めて陳述しました。次期期日は、2011年3月7日(月)16:00～。被告の主張に対し我々が反論を行います。

春闘アンケートを実施中です！

ルネサス懇のホームページで春闘アンケートを実施中です。これまで90名近い方から回答がありました。中間集計結果を少しお知らせいたします。まず回答者の生活実感では、「苦しい」と「やや苦しい」が過半数の59%を占めました。また、月例賃金の改善希望額は、5万円以上という回答が1/3を占め、3万円以上を回答した割合は3/4近くに達しています。



メンタルヘルス問題では、5%の方が通院・治療中と回答されており、かなり深刻な状況にあると推測されます。アンケートでは他にも、残業実態や前回春闘の評価、現在困っていることなどを質問項目として設けています。最終集計結果はホームページに掲載いたします。ぜひとも回答をお願いいたします。

<http://www.denkikon.net/opinion/>



編集後記 昨年12月に発行したルネサス懇の全国統一ピラの宣伝行動では、各地で暖かい激励を頂き、ありがとうございます。1月17日から早期退職の募集が始まっています。ルネサス懇・電機ユニオンには退職強要を受けているという相談も寄せられています。明るく働きやすい職場を作ることこそ、会社の発展にもつながるのではないかと思います。今年も、職場のみなさんからの声を原動力に、よりよい職場作りを目指します。